

米国 AI データセンターの今後 10 年の現実解

— 日本企業の商機としての系統・変電・冷却・電力品質・運用ソフト —

— 講 師 —

クリーンエネルギー研究所 代表 阪口 幸雄 氏

日 時 2026 年 3 月 17 日 (火) 午後 2 時～5 時

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)

会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4 F

〔重点講義内容〕

2024 年以降、米国の AI データセンター投資は「GPU 確保」から「電力・系統・立地・許認可の確保」へと主戦場が移行した。GAFAM に加え、Stargate (Oracle+NVIDIA+SoftBank 等) に代表される“数 GW 級”的壮大な計画が注目されているが、実現可能性を決めるのは資本の大きさではなく、系統連系・変電所・送電線増強、燃料調達、冷却水、そして地域社会との合意形成である。

一方、メディアでは「SMR (小型モジュール炉) がデータセンター電力の本命」「核融合スタートアップが次世代電源を実現」といった論調が急増している。しかし実態は、SMR は技術以前に事業として成立しにくい構造問題 (FOAK コスト、サプライチェーン、人材、規制、工期) を抱え、核融合は科学技術としては前進しているものの、10 年スコープで商用電源の主力になる状況にはない。

本セミナーでは、AI データセンター電力需要の「量」と「時間軸」を冷静に分解した上で、米国の電力・系統制約が投資計画をどのように遅延・分割・立地分散へ導くかを整理する。さらに、SMR・核融合については、誇張されたストーリーから切り離して“成立条件”を明確化し、最後に「今後 10 年の現実解(既存原発延命、ガス火力+系統増強、DR・需給運用、立地分散、エネルギー × デジタル統合)」を提示する。

日本企業にとっての商機(系統・変電・冷却・電力品質・運用ソフト等)も合わせて具体的に示す

1. 総論: AI データセンター投資の構造変化(需要・資本・ボトルネック)

- (1) AI 需要は何が本物か(学習／推論／物理 AI)
- (2) 「需要爆増」論の盲点: 連続増加ではなく段階・波
- (3) インフラ投資の律速: GPU ではなく電力・系統・立地

2. 米国の電力制約: 作るより“つなぐ”のが難しい

- (1) 連系・変電所・送電線増強の工期と許認可
- (2) 電源確保(ガス・再エネ・蓄電・原子力)の現実的制約
- (3) 水・冷却・地域合意: 住民反対と規制

3. GAFAM と Stargate の壮大計画はどうなるか

- (1) Stargate の構造: 計画の全体像と誤解されやすい点
- (2) 数 GW～10GW 計画の実務: 用地・変電・送電・燃料
- (3) 順序か成功かではない: 遅延・縮小・分割・分散

4. SMR の実情: メディアの煽りと現実のギャップ

- (1) SMR とは何か(大型炉との違いを誤解なく整理)
- (2) 技術より事業: FOAK コストと量産の“鶏卵”
- (3) 規制・人材・セキュリティ: データセンター向けの壁

5. 核融合スタートアップの虚実: 科学と金融商品の切り分け

- (1) 核融合は「燃える」ではなく確率過程である
- (2) 難所は何か: 閉じ込め、損失、材料、稼働率
- (3) 主要方式の賭け筋(磁場閉じ込め／慣性閉じ込め等)

6. 今後 10 年の結論: 現実解と日本の商機

7. 質疑応答／名刺交換

※プログラムは最新状況に応じて変更する場合があります

P R O F I L E 阪口 幸雄(さかぐち ゆきお)氏

シリコンバレー在住の著名コンサルタント。米国のクリーンエネルギーと、日本のビジネスへの影響にフォーカスしたコンサルタント会社の代表をつとめる。シリコンバレーを中心に、エネルギー問題の定点観測を長期間行い、今後の動向と日本企業の対応についてのきわめて明解なビジョンを持つ。専門分野は、データセンターの電力問題、エネルギー貯蔵、発送電分離、デマンドレスポンス、分散電源、太陽光発電、水素発電、電気自動車、等。

日本の大手エネルギー企業、日本政府機関、大学等のアドバイザーを多数務める。

シリコンバレーに40年在住。日立(日本と米国)にて17年間最先端の半導体の開発に携わったあと、そのビジネス経験や物性の知識を活用すべくエネルギー分野に。

調査レポート『日米のデータセンター ビジネスと技術の最新動向 2025』

<https://www.ssk21.co.jp/R0000103.php?gpage=07V0005>

●受講料	各受講方法 1名につき 40,700円(税・レポート代込) 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 33,000円(税・レポート代込) ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 22,000円(税込)で承ります。 ※プレミアム会員様はレポート代(7,700円)がかかります。
●お申込方法	二次元バーコード、又はFAXにてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください) ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。

可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。

■ライブ配信について <1>Zoomにてライブ配信致します。<2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用URLとID・PASSを開催前日までにお送り致しますので、開催日時にZoomへご参加ください。

■アーカイブ配信について

<1>開催日より3~5営業日後を目安にVimeoにて配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。

<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

3月17日(火)	「米国AIデータセンターの今後10年の現実解」	申込日 月 日	
貴社名			
所在地	〒 ○印をお付けください(ご自宅・お勤め先)		
参加希望の受講方法を選び□に✓をお入れ下さい。			
<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信	<input type="checkbox"/> アーカイブ配信
フリガナ 氏名		所属部署・役職	
TEL	() -	FAX	() -
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		
参加希望の受講方法を選び□に✓をお入れ下さい。			
<input type="checkbox"/> 会場受講		<input type="checkbox"/> ライブ配信	<input type="checkbox"/> アーカイブ配信
フリガナ 氏名		所属部署・役職	
TEL	() -	FAX	() -
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

●E-mailアドレス登録受付&ご紹介キャンペーン実施中[Amazonギフト券(500円)を進呈いたします]

セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。

※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。

※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい!ご紹介いただいた方にはAmazonギフト券(500円)を進呈させていただきます。

※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850 / E-mail:info@ssk21.co.jp / URL:<http://www.ssk21.co.jp>

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26088-E

